



ビジネスを加速する 新生産拠点、茂原に誕生。



圏央道茂原北IC+茂原長南IC+茂原長柄スマートIC(仮称)*
トリプルインターで世界、国内各地がダイレクトにつながる。

*2020年3月完成・供用開始予定

生産システムの効率化を図りながら独自の技術力で高付加価値製品を世に送り出したい――

開発と生産の一体化をさらに推し進めたい――

国内に点在する優秀なサプライヤー企業群と連携して高品質な製品づくりを今後も維持したい――

製造技術やノウハウの海外流出を確実に回避したい――

こうした切実なニーズを抱える企業様にぜひご注目いただきたい新生産拠点が千葉房総エリアの中核都市に誕生します。

それが、「茂原にいはる工業団地」。

優れた立地、事業採算性を含めた経済性の高さで企業各社の工場進出が早くからスタートした茂原市にあって、この「茂原にいはる工業団地」は圏央道開通、インター開設というまたとないタイミングで分譲を開始することになりました。羽田、成田という2大国際空港へ約60分、しかも首都圏、県内各地とを結ぶ交通網も充実と、理想のアクセス。

その上、低廉な分譲価格とあいまってコストパフォーマンスは十二分。

世界へ、国内各地へつながる」「ひろがる」「加速する」ビジネスの新たな可能性がいよいよここから展開します。

ぜひ、「茂原にいはる工業団地」をご検討ください。

102 茂原北 Mabora-kita

◆ 海外

羽田、成田、日本の2大国際空港へ約60分。

世界との距離が一層近くなる。

茂原エリアにおいて、圏央道開通による最大のメリットは羽田、成田という2大国際空港へのアクセスが格段にスピードアップすること。輸出製品の製造・販売が中心の企業様はもちろん、原材料の海外調達比率が高い企業様にはこの立地の優位性を十二分に享受いただけるでしょう。

◆ 国内

近隣交通網も充実。圏央道との相乗効果で

首都圏はもちろん、国内各地へのアクセスもスムーズに。

圏央道にアクセスする近隣の交通網をはじめ、現地と県内、首都圏各地とを結ぶ有料道路、国道、県道などが縦横に走る周辺エリア。これだけの好環境であれば、国内市場をにらんだ内需型企業様、県内に再投資を検討中の企業様にも十二分に満足していただけよう。

各地とつながる交通網

